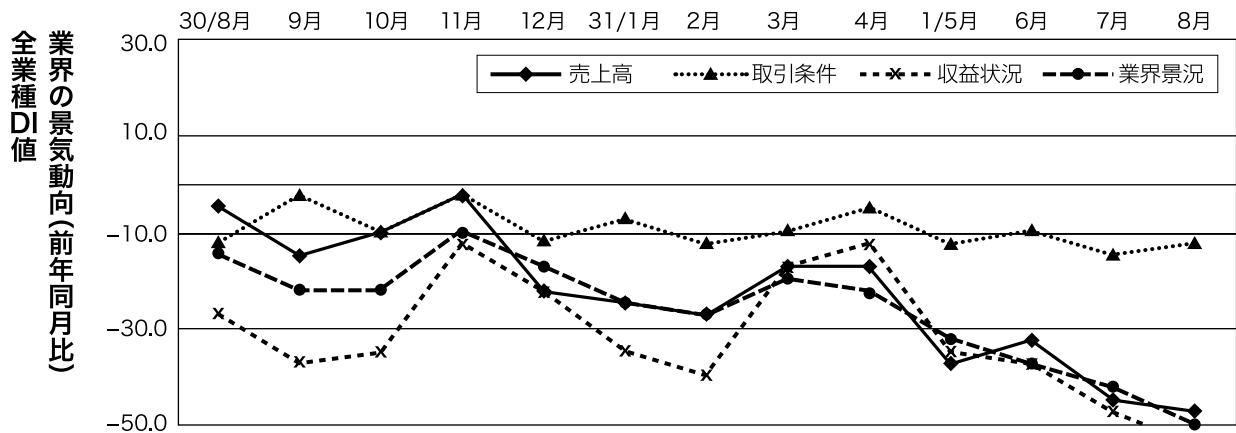




業界の今

情報連絡員報告より
8月の業界の動き

◆ 令和元年8月度 情報連絡員報告 ◆



| | 30/8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 31/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 1/5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 増減 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 売上高 | -5.0 | -15.0 | -10.0 | -2.5 | -22.5 | -25.0 | -27.5 | -17.5 | -17.5 | -32.5 | -32.5 | -45.0 | -47.5 | -2.5 |
| 取引条件 | -12.5 | -2.5 | -10.0 | -2.5 | -12.5 | -7.5 | -12.5 | -10.0 | -5.0 | -12.5 | -10.0 | -15.0 | -12.5 | 2.5 |
| 収益状況 | -27.5 | -37.5 | -35.0 | -12.5 | -22.5 | -35.0 | -40.0 | -17.5 | -12.5 | -35.0 | -37.5 | -47.5 | -55.0 | -7.5 |
| 業界景況 | -15.0 | -22.5 | -22.5 | -10.0 | -17.5 | -25.0 | -27.5 | -20.0 | -22.5 | -32.5 | -37.5 | -42.5 | -50.0 | -7.5 |

概要 令和元年8月の前年同月比DI値の推移は前月に比べ、「取引条件」は2.5ポイント上昇したが、「売上高」が-2.5ポイント、「収益状況」と「業界景況」は-7.5ポイント悪化した。

今年の8月は台風、降雨等が続いたが、大きな影響は見られなかった。また、猛暑日も続き、エアコンの需要増加や、季節商品の売上は好調であったとのコメントがあった。

今後は、人手不足や原材料の上昇など、依然として先行きを注視していく必要がある。

| 消費税の増税に伴う駆け込み需要の対応を準備しているが、具体的な数字にはまだ繋がっていないのが現状(電器) | | | |
|--|------------|---------|---|
| | 集計上の分類業種 | 業種詳細・地域 | 組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点) |
| 製造業 | 食料品 | 製麺 | 8月は軽減税率制度について、研修会を行った。不明な点はまだあるが、今後しっかりと取り組んでいく。8月は昨年同様に暑さが厳しく、夏の季節商品はかなり売れてはいるが、7月は雨が多く、売れ行きに影響があった。伊勢うどんは伊勢市のお客様の入りがよく、よく売れている。令和元年で多くの方々が訪れるのを期待している。 |
| | 窯業 土石製品 | 伊賀焼 | 8月は台風の接近により、伊賀焼伝統産業会館の臨時休館の影響があったものの、入館者数、売上ともに微増であった。また、お盆、夏休み時期でもあり、作陶体験者数が大幅に伸びた。 |
| | 輸送機器 | 鈴鹿 | 夏季休暇中は昨年のような臨時出勤の必要は無く、昨年比で若干の稼働減・売上減であった。業界としては昨年度が良すぎただけと解釈しており、今年度は2年前と同じような景況感で推移しているようである。消費税増税前の駆け込み需要も特に目立った動きは感じられない。 |
| 非製造業 | 小売業 | 電器 | 8月は、7月と打って変って月初から猛暑日が続き、エアコンの設置に追われるようになった。7月のエアコンや冷蔵庫の落ち込みをカバーするように販売の強化を進めたが、お盆過ぎには台風等の影響もあり落ち着いてきた。また洗濯機などの白物家電と、4Kテレビの拡売に努めた。今年は、消費税の増税を控えており、駆け込み需要にも対応を準備しているが、具体的な数字にはまだ繋がっていないのが現状だが、テレビの新製品の発売時期を早めてアピールしており、高額品の販売に繋がるように期待をしている。 |
| | サービス業 | 測量 | 組合の一番の目的である共同受注は、未だ1件もなく下請けに走っている。伊勢地域においては、官民ともこれといって大きな開発、改良もなく業界は冷え切っている。 |
| | 建設業 | 内装工事業 | 8月は盆休みもあり、対前年同月比でわずかながら減少となり、予測通りであった。10月からの消費税増税による駆け込み需要は思ったほどないようで、9月も対前年比は減少と予想される。 |